

(別紙様式 2号 別添)

都県内における推進事業取組実施状況一覧表

取組名	事業実施主体名	計画策定時 被災前 22年度	事業実施後(目標年度)		目標(令和3年度)		事業費(円)	負担区分(円)				目標達成 状況 B/A× 100	事業主体等による評価結果	都県による点検評価結果(所見)
			実績値	事業実績	目標値	具体的な事業内容(計画)		交付金	都県費	市町村費	その他			
放射性物質による健康不安の解消対策	福島農 民連産 直農業 協同組 合	(令和元年度) 健康不安の解消に資するGAP「健康影響緩和対策GAP」を実施し、データを基に経年変化を明らかにした。	平成30年度に改定したGAP「健康影響緩和対策GAP」(国際水準GAPレベル)を実施するとともに、これまでのほ場における放射性物質の分布調査や玄米における放射性セシウム濃度の分析結果、GAPの理解度測定調査結果をもとに、「健康影響緩和対策GAP」を一部見直した。	放射性物質に関する調査・分析を実施した。(ほ場における土壌中放射性セシウム濃度及び空間線量率の測定:2,416点、玄米の放射性セシウム濃度の測定:247点) 10月~11月に構成員50名を対象に理解度測定調査を実施し、その結果を踏まえ「健康影響緩和対策GAP」を一部見直した。	放射性物質に関する調査結果も踏まえながら、平成30年度に改定したGAP「健康影響緩和対策GAP」(国際水準GAPレベル)を実施するとともに、GAPの導入効果を理解度測定調査により検証し、必要な見直しを行う。	放射性物質に関する調査・分析の実施	4,326,025	3,375,000	0	0	951,025	100.0%	事業計画どおり、これまでのほ場における放射性物質の分布調査や玄米における放射性セシウム濃度の分析結果、GAPの理解度測定調査結果をもとに、「健康影響緩和対策GAP」を一部見直した。	目標は達成された。 継続してGAPの取組が実践されるよう農林事務所等を通して指導するとともに、必要に応じて認証GAPの取得も支援していく。